

協力・共催しました!

まち協では各種事業活動に地域の団体や関係機関の協力・支援をいただきまちづくりを進めています。また一方では、地域団体主催の事業活動にも支援協力の形で「協働のまちづくり」を進めています。

10月19日 敬寿のお祝いと交流のひと時を

郷土・地域社会におけるこれまでの貢献、ご労苦にねぎらいと感謝・敬意を表するとともに長寿のお祝いあわせて相互の交流のひと時を提供する「敬老会」に共催で支援しました。

加戸地区敬老会
「すこやか加戸のつどい」



寸劇、歌謡、福引きなど130人の参加者は談笑しながら楽しんでいました。

12月23日 子どもそば打ち体験 放課後子ども教室



そば打ち・つゆ・薬味は「できるだけ子ども自身の手で」に努めました。そのせいか自分が作ったものは格別なようで代わり続出で即完食となりました

年末恒例の子どもそば打ち教室へまち協からお馴染みの支援員に協力をお願いしました。

児童は二人一組で250gのそば打ちをしてもらいました。例年の通り経験者も多く上手に打つ子も何人かいました。上出来の完成品はその場であつという間に完食しました。

子ども節分会 2026 開催のお知らせ

日時/場所 2月1日(日) 午前9時30分～ 加戸・公園台コミセン

- 内容
- ★「鬼になってみた」鬼姿缶バッジづくり(先着30人程度)
 - ★ジャンボ恵方巻きづくり(定員50人) ※低学年以下は保護者同伴で申込は加戸・公園台コミセンまで ☎(82-0356)
 - ★福豆菓子まき(参加自由)



福豆菓子まき 11:00～

加戸、公園台地区の人口						
人口総数 4,671人 (単位 人)						
	男		女		計	
	R8.1.1人口	R7.5.1増減	R8.1.1人口	R7.5.1増減	R8.1.1人口	R7.5.1増減
加戸	1,116	-8	1,234	-5	2,350	-13
公園台	1,098	-12	1,223	69	2,321	57
計	2,214	-20	2,457	64	4,671	44

編集後記 明けておめでとうございます。

昨年中皆様には当まち協事業活動に多数のご参加を賜り厚くお礼申し上げます。お陰様で各事業活動とも予想以上の成果を得られたと思っています。しかし一方では、生活や価値観の多種多様化がますます進む中、「まちづくり」の意義ややり方について考えさせられることも多くなってきたように感じています。

このためにも、まち協には老若男女バランスの取れた人材による多様な声が必要です。区長推薦者枠にとどまらない多くの適材、積極意見にお目にかかる年となりますように!

(びゅ〜ろう)



元気な加戸・公園台を創るまちづくり情報紙

希望の丘

vol.70
令和8年
2026
1月

発行：加戸・公園台地区まちづくり協議会

2026年 新年おめでとうございます。

旧年中のまち協事業活動への格別なるご理解に心から感謝申し上げます。本年も例年以上のご支援ご参加をよろしくお願いします。

～加戸・公園台地区まちづくり協議会 役員・部会員一同～



県議会議事堂も見学してきました!

ここは福井県議会議事堂本会議場です。いつとき県議会議員になったつもりで議席に着いてみました。この日はさしずめ「大人の社会科見学」といったところで、県庁見学体験の一コマです。

県の担当者から県議会の役割や構成、議事の流れなどの説明を受けながらそっと議員名が書かれた「氏名標」を立ててみたり、知事など理事者側や議長席の席にも座ってみたりを経験できました。議場を退出する際には、全員で「議長」を囲んで記念の一枚を・・・。

※本文は4頁に掲載



「賑わい・交流」最高潮



当まち協において最多の人出となる「年中行事 2025版」が、例年にも増す賑わいとなりました。
「七夕茶会と子ども縁日」「加戸・公園台まつり」の様子を紹介します。



超大作「シール天の川」と願望・熱望の詰まった「五色の短冊」



7月
5日

2025 七夕茶会と子ども縁日

まち協定着事業として15回目となる伝統行事の七夕企画、今回はシールを貼って作る天の川や笹竹につるす五色の短冊、缶バッジづくり、あわせて「おもてなし」の文化である茶会、こども縁日を盛り込み開催しました。
また、加戸地区区長会による地元スイカ、スイートコーン大盤振舞いも大賑わいで、参加者は七夕のひと時を十分堪能できたと思います。



すっかり定番 大好評の地元産スイカ
焼きスイートコーンの大盤振舞い



一服のお抹茶で和の心を体感



和太鼓のオープニング
人気の縁日、綿菓子、
来場者プレゼント、
缶バッジづくりなど
多彩な企画で賑わい創出



飛入りで企画
まち協農園ジャガイモ詰め放題即売会



加戸・公園台まつり 2025



見てください!三国高校書道部によるパフォーマンスの力作を



コミセンに貼ってあります



10月
26日 まち協総力を挙げててもてなす最大のお祭り
イベント、あいにくの空模様にもかかわらず
今回も最大級の人出でにぎわいました。

ステージアトラクション、ゲーム、模擬店、体験コーナー、作品展示等々多彩な企画が来場者を誘いました。
各コーナーにはまち協协会会员ばかりでなく地区内外の有志や各種関係団体の方々のご協力をいただき、来場者・スタッフともに楽しめる祭りとなりました。



見せて聞かせた お遊戯、うた、演奏



力作ばかり
講座生・児童・まち協事業参加者の作品いろいろ



模擬店、体験コーナーでは
有志や関係団体のご協力がありました



ビンゴ・福引き
豪華な?商品群

コシヒカリ
お得さは目しだい

今年も企画しました！ いろいろ体験学習

“やってみたい・見てみたい・行ってみたい。でも個人ではどうも、ということはありませんか？
今年まち協で企画・募集したいろいろな体験学習活動を紹介します。



「えち鉄に乗って」 県庁・議事堂・県警本部見学～の巻

11月
6日

今回のえち鉄利用促進事業は、「えち鉄電車で行く福井県庁見学会」として実施しました。ほとんど行くこともない県庁・議会や県警本部が見学できるとあってみなさん興味津々の様子でした。



まずはえち鉄電車に乗車 出発！



担当者からの日程・留意事項説明



議員席に座って説明を聞きました。ついでに議長席でパチリ記念撮影



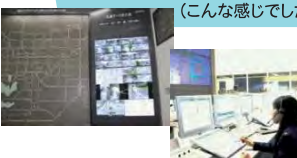
県警本部の概要を担当者が説明
エントランス以外は撮影NGにつき
見学コース（通信指令室・交通管制
センター）は県警HPを引用
（こんな感じでした）



屋上から福井市内を展望



昼食は県庁食堂の
「ふく得定食」
（これが目当ての人も
いたとか?）



見学会の最後
県庁正面の石銘板の前での集合写真

「食育・交流」 ぶどう狩り～の巻

9月
7日

はちきれんばかりに吊り下がるぶどう袋、吟味に吟味を重ねこれぞと思ったものをハサミでチョキン。今年もお馴染みの光景を大勢の皆さんに体験していただきました。自然の香り漂うぶどう畑での和気あいあいの摘みたてものは店頭ものとは一味も二味も違った格別の逸品できっと満足したことと思います。



フィナーレを飾るは
ジャンボガラポンによる
お得抽選会！

じゃがいも収穫～の巻

6月
28日

「まち協ふれあい農園」での食育・収穫体験です。今回はジャガイモを作付けしました。土寄せ作業が追いつかないほど生長し、収穫時期となりましたが、おりしも連日の高温続きで加戸幼稚園、三国松涛こども園の希望者による作業となりました。参加した園児は、スタッフにより掘り起こされたイモを次々と収穫していきました。予想通り用意したコンテナが足りなくなるほどの大豊作で、袋いっぱいにお持ち帰りいただきました。はけ切れなかった残りは七夕イベントで即売市に！



大豊作の収穫物を前に満足顔の参加者

ものづくり ガラス工芸・陶芸～の巻

8月
23日

8月
30日

風船のように膨らませて造るガラス細工、粘土を手指で造り上げる陶器など、やってみたいけど自分にもできるかな？ そんな要望に応え、「ガラス工芸・陶芸」体験を企画しました。金津創作の森の体験教室を利用し、専門スタッフの手ほどきで安全で個性ある上手な作品ができあがり、参加者は後日の受取りを心待ちにしていました。各作品は「まち協まつり」で披露しました。

吹きガラス編



よく目にするガラス細工の工程 スタッフ手ほどきのもと子どもでも安全で手際よく作品作り

サンドブラスト編



コップに貼り付けた絵をカットニング 機械で粒砂を吹き付けると切り抜いた部分がすりガラス状に色変わり

手びねり編



一心不乱に粘土細工に集中 个性的で独創的な作品が出来上がり 焼き上がり後は食卓に乗っているかな？

生徒さんの作品群です

越前カンタケ栽培～の巻

12月
4日

初冬の候、お馴染み恒例の福井県特産「越前カンタケ」栽培教室です。この時期重宝する食材とあってか、早々に問合せもあるほど心待ちにされている人もいます。一度経験すると病みつきになるようで毎回申し込みされる人も多く。簡単な作業で、みなさん大変手際よくセッティング、3月頃まで収穫が続くでしょう。



3週間もすると
そろそろ収穫

継続 することが 重要 安全・安心&防災・減災

安全で安心して暮らせる地域は、まちづくりの根幹をなす活動の基本であり、常日頃からの心構えがいざという時に役に立ちます。

当まち協では、安全・安心を基本目標にかかげ防犯、防災・減災の活動を継続して実施しています。

おはよう！
朝の声掛け

7月
9日

児童・生徒へのあいさつ運動は、学校・地域における人と人のつながりや信頼を深め、防犯や非常時のコミュニケーションにも効果があるといわれます。まち協では毎年加戸小学校において朝の挨拶・声かけを実施しています。

元気な登校、元気なあいさつの連鎖に部会員も和みます

車上ねらい
にご用心

7月
26日

ちょっとした油断が大きな損害に繋がることもあります。

多くの来場者がある学童野球・バレーボール大会で車上ねらいへの注意喚起を促すためビラ配りを実施しました。

当まち協が坂井西警察署の協力を受け毎年実施しているもので、大会に気を取られがちのドライバー一人ひとりに声掛けしました。

能登半島地震
教訓と復興支援

11月
2日

2年経ってもまだ余震が続いている能登半島地震ですが、地震発生時における住民の迅速的確な避難誘導についてどのように行われたのか、温泉街で見事な成果を上げた七尾市和倉地区を視察研修しました。

研修は、地元ボランティアの「語り部」から体験談を伺うとともに今なお残る被害の状況や道半ばといった復興の現状を視察しました。

今回の研修により地震の脅威をあらためて思い知るとともに、日頃からの訓練と備えが功を奏すること、住民全員がともに支え合い役割分担する「共助」の意識を持つことが大切なことを再認識しました。

今なお復旧工事が進まない被害の爪痕

軒を連ねる飯店・倉庫群

語り部の説明を受けながらの研修

癒しと賑わいと

まちづくり事業の課題のひとつに、地域・地域住民の「癒しと賑わいの創出」があります。当まち協ではこれまで「売り」のひとつとして個性を付加した「イルミネーション装飾と花いっぱい」に取り組んでいます。天候不順が続く中、年々困難性が増してきていますが地域皆さんが楽しんでいただければ幸いです。

12月
1日

冬季限定

イルミネーション冬の水族館

箱から出され深い眠りから覚めた海の生き物たち。今年も出番がやってきました。10か月ぶりに息を吹き込むと、年を重ねるごとに光が一つ二つと減っていきます。でもまだまだ現役を主張するかのように各自とも変わらぬ色合いで存在感を示していて、設置する側としても安心です。毎回模様替えする壁面飾りですが、今回は魚類現生最大の王様「ジンベエザメ」です。

準備の時から「観に行くと」幾人かに声かけられました。まだの人は一度足を運んでください。お待ちしています。点灯期間は、～1月末までの17時～21時です。

点灯式
スイッチON!

壁面のいきもの
役員は「くら」と言っていたが、
どう見ても「ジンベエザメ」です

5月
10日

おもてなし演出した花々

今年も猛暑を考慮しながら、暑さに強い品種の花を揃えて花壇を埋め尽くしました。ところが、想定以上の天候不順が続く個体ごとの体力の強弱が顕著に現れ、少々がっかりな出来になったようです。また、改めて雑草の強靱さには目をむきました。

でも、それなりに頑張ってくれた花々も多く、たくさんのお褒めの言葉もいただき、役割を達成できたのではないのでしょうか。

なお、市の花壇コンクールでは「優良賞」をいただきました。

今年のメンバーは 日日草・ペンタス・サルビア・ブルーサルビア・ケイトウでした。初夏の頃までは皆さん雑草にも負けず元気でた。

訪れた加戸小2年生と記念撮影も

期待の多色ひまわり
「まち・むら交流支援」のご協力できれいに出芽したのですが以後の日照りと強靱な雑草攻撃で極度の生育不良に 残念!

シャクヤクはいつも通りきれいに

ペンタスの花苗を加戸小学校の1年生にプレゼントしました
大切に育てていただき、きれいに咲きました。ありがとうございます!